



研究者名※	平田由紀江 HIRATA Yukie	学位※	博士(社会学)
所属※	人間社会学部 現代社会学科	職名※	准教授
連絡先	hiratay@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/hirata-y		
研究分野※	社会学、地域研究		
研究キーワード※	コミュニケーション・情報・メディア、ジェンダー、東アジア		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<p>「学校教育活動の「法化」現象に関する東アジア比較研究:いじめ・学校暴力対策法制の展開を中心に」(2018、2019年度獨協大学国際共同研究助成、研究協力者)</p> <p>日本女子大学特別重点化資金「キャリア形成と国際理解プログラム:グローバル環境で働くことの実践的意味」(2017年度、共同担当者)</p> <p>日本女子大学特別重点化資金「タイの大学との交流の定着—アジア諸国の女性リーダー育成とジェンダー公正プロジェクトの一環として—」(2016年度、共同担当者)</p> <p>「社会変動と女性間不平等に関する日韓比較研究」(2011、2012年度獨協大学国際共同研究助成、研究分担者)</p>		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ● 三郷市男女共同参画審議会委員 (2007年7月から2017年6月) ● 草加市男女共同参画専門委員 (2012年10月から2016年3月) ● 「ポピュラー音楽で知る韓国社会」第22回大学で学ぼう～生涯学習フェア、神奈川県立図書館、2019年7月 		
受賞歴			

研究領域	社会学・地域研究 (メディア、東アジア)	(SDGs)
研究テーマ※	韓国・日本をフィールドとしたメディア文化研究	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 主にドラマや音楽などのポピュラー文化について、それらは社会や共同体の何を映し出し、どのような関係性のなか存在するのかについて、メディア・テキストを取り巻く言説に注目し研究している。具体的には、韓国と日本を主なフィールドとし、デジタル・ネットワークの普及をはじめとするメディア環境の急速な変化のなかで起こる、Kpopや韓国ドラマ・映画などのトランスナショナルな広がりや葛藤、そしてその過程で起こりうるメディア・テキストの意味変化、ファンダムのありよう等に焦点を当て、文化・歴史的背景や社会環境について考察している。</p> <p>【応用例、研究の展望】 近年、デジタル・メディアの発達により、一層複雑化する時空間において、私たちは「どこで」「何を観て」「何を生み出し」、そこから「生み出されたもの」はどこに向かっているのだろうか。そして、そうした複雑化する社会において、ポピュラーなメディア文化はどのような意味を持ち、またどのような言説を誕生させているのか。近年は、デジタル・ネットワークに注目し、そこで展開される議論や消費されるメディア・テキストが持つ(あるいは生み出す)ある種のパワーやその政治性が社会環境にどのような影響をもたらしているのかについて幅広く研究している。また、日本から、韓国をはじめとする東アジア、そして世界をまなざすことの特異性や意味について留意しつつ、文化やその結果としての社会制度の比較研究にも少しずつ携わっている。</p> <p>【研究方法の特色】 社会学、カルチュラル・スタディーズを軸とし、ジェンダー研究やメディア研究、観光社会学等領域横断的な研究を行っている。とくにフィールド・ワークを重視しており、テキスト分析や質的研究に力を入れている。</p>	
本研究関連	平田由紀江「デジタルメディア時代のジェンダー力学—韓国のインターネット空間における「女性」」	

<p>特許・論文等</p>	<p>伊藤守編『コミュニケーション資本主義と〈コモン〉の探究—ポスト・ヒューマン時代のメディア論』分担執筆（217-239頁）、2019年、東京大学出版会 平田由紀江・山中千恵編『ソウルを歩く—韓国文化研究はじめの一步』共編著、2019年、関西学院大学出版会</p>
<p>共同研究・外部機関との連携への期待</p>	<p>・ ・</p>